

都市再生整備計画(第3回変更)

は ま だ え き し ゅ う へ ん ち く
浜田駅周辺地区

しまね けん は ま だ し
島根県 浜田市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	島根県	市町村名	はまだし 浜田市	地区名	はまだえきしゅうへんちく 浜田駅周辺地区	面積	47.4 ha				
計画期間	平成	18 年度	～	平成	21 年度	交付期間	平成	18 年度	～	平成	21 年度

目標	
大目標： 浜田駅周辺地区における大規模低未利用地を活用した浜田医療センターの移転新築に併せ、都市基盤整備を行うことにより、JR山陰本線で分断された駅南北市街地の一体性を高め、本地区の利便性向上及び賑わいと魅力を高める。	
目標①： 駅北側の大規模低未利用地を活用し、浜田医療センターを核とした医療施設を集積することにより、地域医療の充実や住民の利便性の向上を図る。	
目標②： 交通結節機能などの都市基盤整備による駅南北市街地の一体化と交通利便性の向上。	
目標③： 高齢化社会等に対応したバリアフリーの推進及び、安全で快適な歩行空間等の整備による都市環境の充実。	
目標設定の根拠	
まちづくりの経緯及び現況	
■ 浜田市は島根県西部の中央に位置し、県庁所在地である松江市と道路距離で124km、山陽側の広島市とは同107kmの位置にあり、浜田港を中心とした山陰・山陽を結ぶ交通の要衝として栄えるとともに、古くから政治・経済・文化を中心に県西部の中核都市として発展してきた。 平成17年10月1日に近隣4町村と合併を行っており、今後は、「安心して、健やかに、楽しく住める一体的なまちづくり」と「地域の個性を活かしたまちづくり」の2点を基本とする「新市まちづくり計画」に基づく新しいまちづくりの推進により、魅力と活力に溢れた住民主体の新しいまちの実現を目指す。	
■ 本地区は、浜田市の中心市街地に位置し、JR浜田駅を中心とした交通の結節機能を有しており、商業施設や住宅等が集積する拠点地区である。	
■ 駅南側は、土地区画整理事業の施行などにより都市基盤整備が進んできたが、駅北側は基盤整備が遅れており、一般国道9号にアクセス可能なJR施設用地や旧JR貨物ヤードなどが大規模低未利用地として残されているため、駅周辺地区が本来もっているポテンシャルを活用できていない。	
これまでに駅北側は、都市拠点総合整備事業整備計画策定調査（H6. 3策定）など、各種の調査を行い事業実施に向け取り組んできたが、土地利用の方針や整備スケジュールが定まらなかった。	
このような状況の中で、平成11年度には将来の本地区の形成に必要な用地として、旧国鉄清算事業団から約1.5haの貨物ヤードを取得した。	
■ 平成12年度において、浜田圏域の懸案事項として駅北側に国立浜田病院（現、独立行政法人国立病院機構浜田医療センター）を核とした医療ゾーンとしての整備方針を打ち出した。	
現病院は、1963年に建設され、浜田市を中心とした圏域の中核病院として地域医療を担ってきたが、病棟の老朽化が進み、相次ぐ増改築や医療機器の導入で手狭となり、これ以上の機能強化は不可能な状況である。	
そのため、圏域自治体や医師会などと共に支援組織（浜田医療圏浜田医療センター整備充実促進同盟会：浜田市・江津市・三隅町・金城町・旭町・弥栄村の代表者45名で構成）を立ち上げ、圏域の住民と一体となって署名活動（署名対象者53,082名の内、署名者数41,401名）や医療シンポジウムなどに取り組み、駅北側への移転新築の重要性を訴えてきた。	
平成16年11月15日に念願であった浜田医療センターの移転新築が決定され、地域医療の充実に併せ、浜田駅周辺地区における都市機能の強化に期待が寄せられている。	
■ 中心市街地活性化基本計画（H16. 10改訂）においては、検討委員である地元の各団体や商店街等より、駅南北の一体性を高めるため、浜田医療センターの移転新築と併せて、駅周辺の都市機能の強化・拡充を望む意見が多数あった。	
また、平成17年1月には、地元商店街と駅周辺における都市基盤整備について、意見交換会を行った。	
この事を更に発展させ、平成17年7月には駅周辺の商店街を中心とした市民と、「浜田駅南北自由通路・駅舎整備検討会」を設立し、駅舎や自由通路等の実施計画について意見交換を行っている。	
課題	
目標①：（駅北側の大規模低未利用地を活用し、浜田医療センターを核とした医療施設を集積することにより、地域医療の充実や住民の利便性の向上を図る。）	
■ 本地区には、浜田駅があるものの、集客力のある施設が不足しているために、空間的・機能的な求心力が失われつつあり、魅力的なシンボルエリアとして特徴づけできなくなっている。	
■ 駅北側は大規模低未利用地が残されたままとなっており、市街地整備が遅れている。	
目標②：（交通結節機能などの都市基盤整備による駅南北市街地の一体化と交通利便性の向上。）	
■ JR山陰本線により、駅南北の市街地が分断しているため、本地区に一体感がない。また、南北を横断できる箇所が少なく、歩行時間がかかるなど利便性が悪い。さらに、駅の改札が南口のみで、駅北側からの利便性が悪い。	
目標③：（高齢化社会等に対応したバリアフリーの推進及び、安全で快適な歩行空間等の整備による都市環境の充実。）	
■ 駅や医療センター・道路などは、とくに子どもやお年寄りなどに対して利便性や安全性が低く、バリアフリー化などが遅れている。	
将来ビジョン（中長期）	
■ 地方拠点都市地域基本計画（H8. 9）	
本地区は、交通・通信・情報・業務・居住などの機能が集積した、職住近接のバランスのとれた中枢の都心空間を形成する拠点地区として位置づけられている。整備に当たっては、①都市魅力の充実、②県西部の広域都市機能の導入、③歩行者中心の環境形成、④駅北地区都市基盤施設の一体的整備、⑤駅南北を結ぶ動線の整備、⑥広域交通結節点としての交通拠点の整備などの基本方針に基づき整備を進める。	
■ 浜田市都市計画マスタープラン（H11. 4）	
本地区は、地方拠点都市地域基本計画に定められている①～⑥の基本方針を促進し、にぎわいのある中枢の都心空間を形成する。	
■ 浜田市中心市街地活性化基本計画（H13. 3策定、H16. 10改訂）	
本地区においては、JR山陰本線により分断された駅南北の一体性を高めるため、浜田医療センターの移転新築を併せて、都市機能の強化・拡充を図ることにより合併後の新市の「顔」となるよう整備する。	
■ 第4次浜田市総合振興計画（H14. 3）	
本地区の都市づくりの方向性を「魅力ある都市空間の形成」とし、中心市街地活性化基本計画などに沿った計画的な開発・整備の推進や、JR山陰本線により分断された駅南北の一体的な整備を促進し、都市機能の向上と魅力ある空間の形成を行うこととしている。	
■ 新市まちづくり計画（浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町合併協議会 H17. 1）	
本地区は、「都市機能を活用した交流拠点地域の形成」を目指して、浜田駅北地区開発事業等を推進するとともに、浜田医療センター移転新築事業を重点プロジェクトとして位置付けている。	

目標を定量化する指標								
指 標		定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度	
	単 位							
医療センター移転地から駅までの移動時間	分	医療センター移転地から駅南口までの歩行による平均移動時間を計測する。※移動時間＝(西側の移動時間+東側の移動時間)/2	交通結節機能の強化により、駅からの来院者をはじめとした駅利用者の利便性の向上を移動時間で示し、時間短縮する。	14	H17	3	H21	
駅南北の一体化度	人/日	駅南北(JR)を横断する歩行者数	都市基盤整備により、駅南北市街地の一体性を高める。	702	H17	1,500	H21	
交通事故件数	件	当地区における年間交通事故件数	歩行空間等の整備を通して、交通事故件数の3割減や都市環境の充実を目指す。	14	H16	10	H21	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(低未利用地を活用した「まちの核づくり」による、賑わいと魅力の創出) ・本地区の拠点形成と賑わいの再生のため、駅北側にある大規模低未利用地を活用した医療施設の移転新築に併せ、都市基盤整備を行うことにより相乗効果を促す。 ・交通広場と一体で公園整備を行い、機能的で集える空間を演出する。 ・来街者をもてなすモニュメントや照明施設などの修景施設を整備し、憩いや潤いづくりを行う。	公園(基幹事業/駅北公園・市)、高質空間形成施設(基幹事業/緑化施設等・市)、浜田医療センター移転新築整備事業(関連事業/浜田医療センター)
整備方針2(駅南北市街地の一体化による都市機能の強化・拡充) ・JR山陰本線で分断された駅南北市街地を連絡する自由通路を整備することにより、安全快適な歩行者動線を確保し、駅周辺地区の一体化を図る。 ・自由通路と医療センターを接続することにより、高齢者・障害者を含めた地域住民の往來の利便性向上を図る。 ・交通結節機能の向上を図るため、駅舎や交通広場の整備、駅利用者のアクセス道路として駅北線を整備する。	高次都市施設(基幹事業/自由通路・市)、道路(基幹事業/駅北線・市)、地域生活基盤施設(基幹事業/駅北交通広場、駅南交通広場の改良・市)、地域創造支援事業(提案事業/駅舎整備・市、JR西日本)、駐車場(関連事業/市)
整備方針3(歩行空間等の整備による都市環境の充実) ・安全で快適に利用できる歩行空間の整備を行う。 ・駅利用者や病院利用者等の利便性の向上を図るため、エレベーターやエスカレーターの整備を行い、バリアフリーを促進する。 ・歩行空間の確保と、まちなかの美観の向上に寄与する施設として駐輪場を設置する。 ・国土交通省が施工する国道9号のバリアフリー(関連事業)に併せ、国土交通省と整合性を図り、交差点部の改良を行うことにより、交通の安全性を確保する。	道路(基幹事業/浜田停車場港町線、浜田183号線、浜田184号線の改良・市)、高次都市施設(基幹事業/自由通路・市)、地域生活基盤施設(基幹事業/駅北駐輪場・市)、地域創造支援事業(提案事業/排水路・市)、あんしん歩行エリア形成事業(関連事業/市)、浅井自転車歩行者道整備事業(関連事業/国土交通省)
その他 ■事業終了後の継続的なまちづくり活動について ・まちづくりは、行政・事業者・市民が連携・協力して推進する必要があることから、事業者や市民を主体とした浜田市中心市街地活性化推進検討委員会により、継続的に中心市街地の現状と課題を把握し、その対策について検討する。 ■交付期間中の計画管理について ・新市の重点プロジェクト事業であり、所管課を設置し事業推進を図る。 ・交付期間中は行政評価システムを活用し、事業成果や事業の進め方等についての外部評価を行う。	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,216	交付限度額	886.4	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路		駅北線	浜田市	直	520m	H18	H21	H18	H21	566.690	566.690	566.690	0	566.690	
		浜田停車場港町線	浜田市	直	170m	H18	H21	H18	H21	74.700	74.700	74.700	0	74.700	
		浜田183号線	浜田市	直	224m	H18	H21	H18	H21	77.039	77.039	77.039	0	77.039	
		浜田184号線	浜田市	直	75m	H18	H20	H18	H20	9.069	9.069	9.069	0	9.069	
公園		駅北公園	浜田市	直	0.11ha	H18	H21	H18	H21	38.964	38.964	38.964	0	38.964	
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	—	浜田市	直	—	H18	H21	H18	H21	118.702	118.702	118.702	0	118.702		
高質空間形成施設	—	浜田市	直	—	H20	H21	H20	H21	13.300	13.300	13.300	0	13.300		
高次都市施設	自由通路	浜田市	直	78m	H18	H21	H18	H21	1,119.280	1,119.280	1,119.280	0	1,119.280		
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										2,017.744	2,017.744	2,017.744	0	2,017.744	

4...A

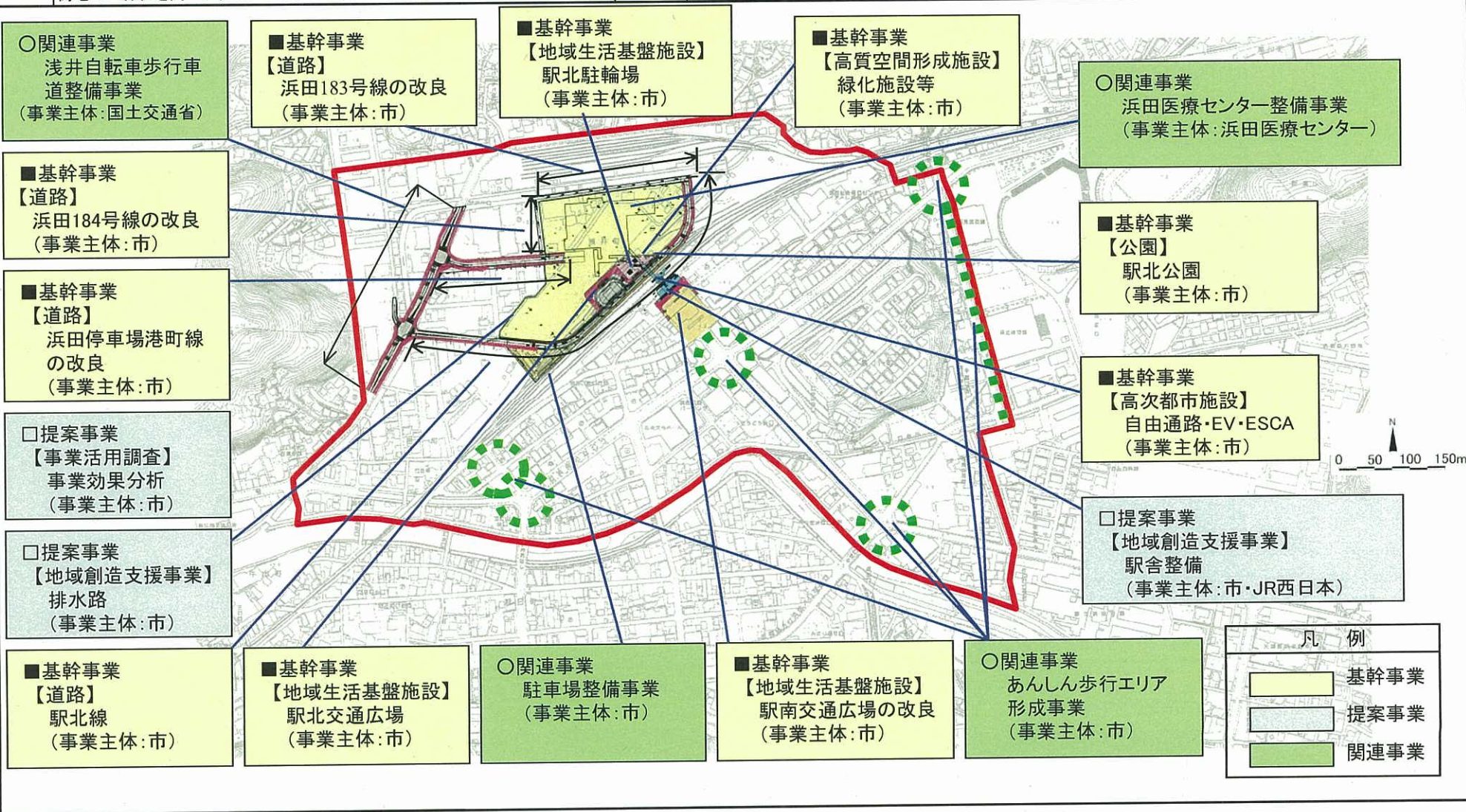
事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	駅舎整備	JR浜田駅	浜田市	直	2階建て	H18	H21	H18	H21	187.180	187.180	187.180	0	187.180
	排水路	浜田駅北側	浜田市	直	118m	H19	H21	H19	H21	10.675	10.675	10.675	0	10.675
事業活用調 査	事業効果分析	—	浜田市	直	—	H21	H21	H21	H21	0.401	0.401	0.401	0	0.401
		—			—									0
		—			—									0
まちづくり活 動推進事業		—			—									0
合計										198.256	198.256	198.256	0	198.256
												合計(A+B)		2216.000

6...B

[illegible]

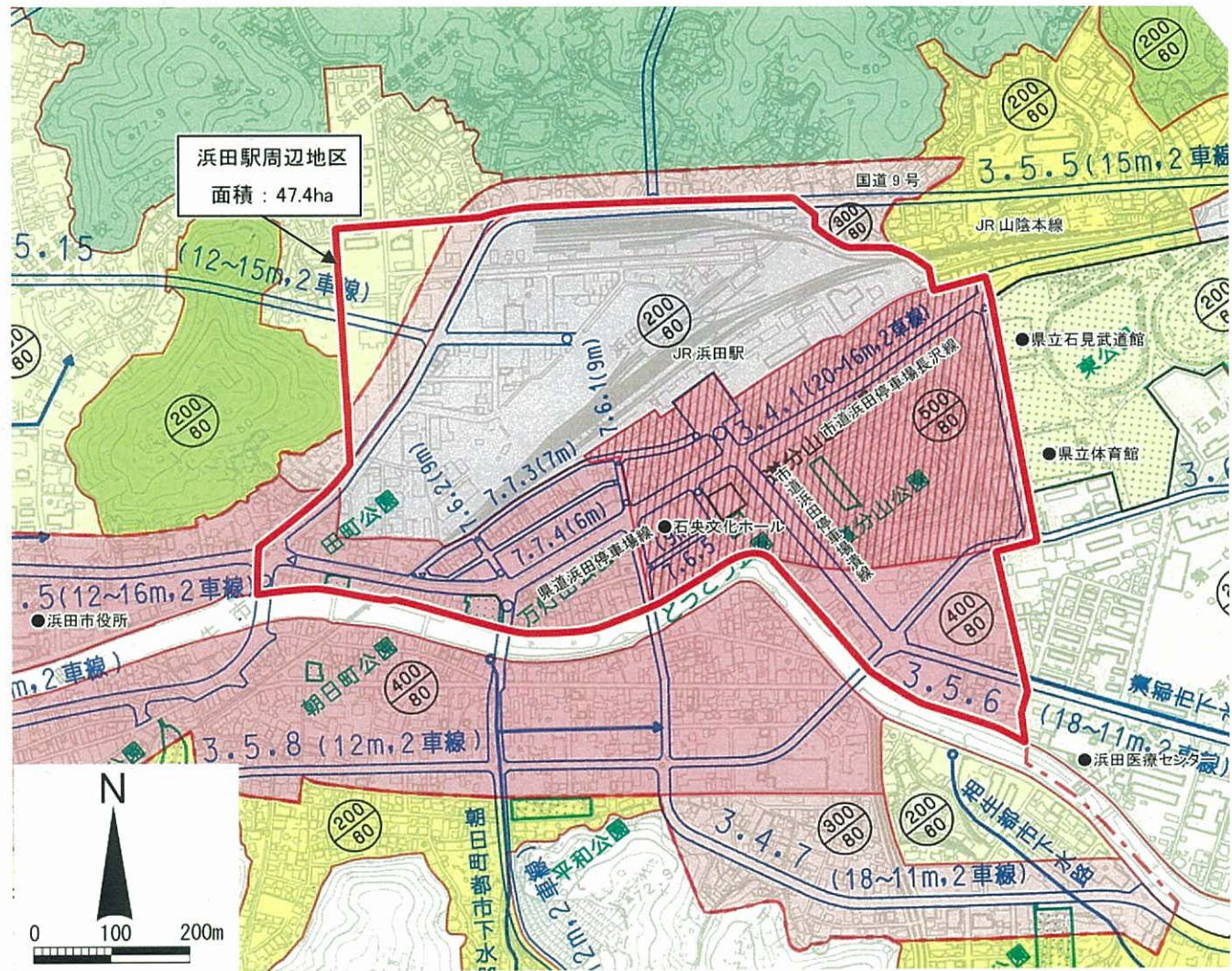
浜田駅周辺地区(島根県浜田市) 整備方針概要図

目標	浜田駅周辺地区における大規模低未利用地を活用した浜田医療センターの移転新築に併せ、都市基盤整備を行うことにより、JR山陰本線で分断された駅南北市街地の一体性を高め、本地区の利便性向上及び賑わいと魅力を高める。	代表的な指標	医療センター移転地から駅までの移動時間 (分)	14	(17年度)	→	3	(21年度)
			駅南北の一体化度 (人/日)	702	(17年度)	→	1,500	(21年度)
			交通事故件数 (件)	14	(16年度)	→	10	(21年度)



都市再生整備計画の区域

浜田駅周辺地区(島根県浜田市)	面積	47.4 ha	区域	浜田市琵琶町、浅井町の一部、田町の一部、黒川町の一部
-----------------	----	---------	----	----------------------------



凡 例	
[---]	都市計画区域
地域地区	A 商業地 B 住宅地
[Green]	第一種低層住居専用地域
[Light Green]	第一種中層住居専用地域
[Yellow]	第二種中層住居専用地域
[Light Yellow]	第一種住居地域
[Pink]	第二種住居地域
[Light Pink]	近隣商業地域
[Red]	商業地域
[Light Blue]	準工業地域
[Dark Blue]	工業地域
[Dashed Red]	準防火地域
[Dashed Blue]	臨港地区
都市施設	
[Blue Line]	都市計画道路 31路線
[Green Line]	都市計画公園 28箇所
[Blue Arrow]	都市下水路 9路線
[Blue Box]	公共下水道
[White Box]	その他の都市施設